

# 帯広支会報告

帯広支会 運営委員 富田勝江

## ○スイッチの適合とフィン・チャット勉強会

日時 2024年5月31日(金) 13時30分 ~ 16時30分

会場 市民活動プラザ 六 中

講師にアクセスール株式会社 代表取締役 松尾光晴氏をお迎えし、日本ALS協会北海道支部の協力によりコミュニケーション勉強会が開催されました。

平日の忙しい中、28名の参加がありました。であい友の会（脊髄小脳変性症・多系統萎縮症）難病連十勝支部、帯広保健所、帯広障害福祉課職員、帯広市市議、リハビリ関係者、ALS（家族、遺族）、相談支援員、ヘルパー等が参加され、熱心に2時間の講義を聴かれていました。



2時間半の講義の中で、適合するスイッチの選び方、コミュニケーション機器の説明等が行われました。

「機器ありきではない、本人にとって最適な手段を見つけることが大事！」



本人の本当にやりたいことを聞き出すところから始まる！

何がしたいのか？何ができるのか？  
この2つの上から一人ひとりに必要な支援を見つけ出す！

生活を豊かにするために、何がしたいのか？  
どんな方法で実現するのか？

スイッチを選ぶ前に、身体の動く部分を探すことから始める。  
指でスイッチを動かす場合には、指の力と震えを考慮する。機器を導入する前に、スイッチがうまく押せるか練習をしてから・・・、いきなり意思伝達装置を導入し、スイッチのタイミングが合わなかったり、うまく使えないと機器を使うことすら嫌になってしまう。  
スイッチがうまく押せるようになってから機器を導入すると、比較的スムーズに操作が可能になり、使う方の精神的負担も軽減される。

進行性の難病の時には、早めの機器の導入、そして、身体の進行段階でスイッチが使えなくなったときには、すぐに諦めてしまうのではなく、どのような工夫をしたらいいのか？スイッチの変更なのか、当事者の周りの環境なのかを考えて、その時に合った支援を行う、ご本人に合った支援をすることで、ご家族の支援の軽減に繋がるとあらためて感じることができ、とても貴重なコミュニケーション学習会でした。  
講師の松尾先生、ご参加された皆様ありがとうございました。



■入力スイッチ適合サイト  
マイスイッチ ホームページ  
<https://mysupport.jp/>

#### 帯広支会10周年記念講演

### 心の花咲く音楽会 ～緑の風のなかで～

令和6年7月20日（土）13時から NPO法人 和・ハーモニー音楽療法研究会による音楽療法が行われました。参加者はALS当事者・家族・一般・相談支援員・難病連十勝支部・音更支部関係者・ALS関係者29名の参加がありました。心落ち着く音楽聴き、一緒に楽器演奏や歌を歌うことで、たくさんパワーを頂きました。音楽療法には、生理的・心理的・社会的の作用があり、参加された皆さんも笑顔になり心の落ち着きを感じられたことと思います。



NPO法人 和・ハーモニー音楽療法研究会の中山先生、中島さん、鈴木さん  
ご参加された皆様ありがとうございました。